

会派視察報告書

会派の視察における結果について、下記のとおり報告します。

令和 元年 8月26日

光市議会議長 西村憲治 様

光市議会 会派「彩り」 森戸 芳史
笹井 琢
磯部登志恵
田中 陽三
仲山 哲男

1 視察年月日 令和 元年 7月17日（水）から
令和 元年 7月18日（木）まで

2 視察先 ①奈良県 大和郡山市
(人口8万5000人 面積42km²)
②大阪府 泉大津市
(人口7万4000人 面積14km²)

3 視察テーマ

- ①市議会広報誌と動画配信
- ②不登校支援学科指導教室「ASU」
- ③議会改革の取り組みと動画配信

4 視察結果 別紙のとおり

光市議会会派「彩り」視察報告書

日時	令和元年7月17日(水)13時半～15時
視察先	奈良県大和郡山市 北郡山町 大和郡山市役所
応対者	大和郡山市議会事務局 百嶋芳一次長 岡向修治係長
テーマ	市議会広報誌と動画配信



①市議会広報の発行

(発行に至る経緯)

議会改革特別委員会の議論の中で、市民や他市議員に向けてオープンに議会だよりを作るべき賛成意見や、市広報で詳細に報告する工夫をしたらどうかという意見があった。公費を使って発行することへの反対意見もあったが、議論を進める中で、市広報紙の内容充実を検討、掲載内容については議会運営委員会で議論してきた。

大和郡山市の広報誌の中に、市議会一般質問の要旨を中心に掲載するスタイルで、平成29年3月の第1回定例会から掲載している。

(市議会広報の編集)

- ・質問と答弁を合わせて1人300字まで
- ・閉会日の午後5時までに議員が事務局に原稿を提出する
- ・事務局が仕上げ、閉会2～3日後に議会運営委員会協議会で掲載原稿を確認する
- ・議会閉会后1ヵ月半～2ヵ月後に発行

(市議会広報に関する経費)

大和郡山市の広報誌のページ増になり1頁当たり約1円、1回当たり約7万3千円である。市議会では負担はしていない。

大和郡山市の広報 全16ページ



大和郡山市議会だより 平成31年 第1回 定例会

議決結果について

目次	議決結果
市民生活	議決済
交通安全	議決済
子育て支援	議決済
防災・安全	議決済
市民生活	議決済
交通安全	議決済
子育て支援	議決済
防災・安全	議決済
市民生活	議決済
交通安全	議決済
子育て支援	議決済
防災・安全	議決済

議会一般質問の要旨

高齢者外出支援について 村上 達也 議員
児童虐待について 堀川 力 議員
学童保育と保育費補助額について 大窪 久美子 議員
ゴミ収集について 香川 幸徳 議員
国道24号線沿道の活性化について 尾野 誠司 議員
公有財産の売却関係について 尾野 誠司 議員

うち5ページが市議会の広報
議決結果、議会からのお知らせ、一般質問発言の要旨等

②議会等の動画配信について

- ・平成30年12月議会の開会から配信を開始した。
- ・本会議、委員会とも公開している会議は全て配信している。
- ・ライブ配信と、録画配信の両方を行う。
- ・導入実施経費（庁舎建替えに当たり現庁舎を使用する間、41ヵ月）

▶機器設置費用	497,556円（主に工事費）	} ランニングコストは合計約75万円/年
▶機器賃貸借料	27,324円/1ヵ月	
▶システム使用料	29,160円/1ヵ月	
▶映像編集費用	756円/1時間	



委員会室のカメラ



委員会室の操作台



本会議場のカメラ

質疑応答

- ・議会事務局の人数は
→職員5人で運営している。
- ・動画配信の作業の流れは？
→専用の動画配信システムを導入している。操作は議会事務局職員が行っており簡単。中継は事務局が行っており定点撮影で字幕はない。委員会での間、休憩カットは必要最小限で行っている。
録画配信は、録画後業者に送り編集して返ってきたものを事務局でチェックし、編集後約1週間で公開している。カメラはアナログで、専用パソコンがあり業者もアクセスできるようになっているので、データを取り出さずとも編集も可能。
- ・動画配信の契約業者はどのような業者か？
→動画配信を請け負える業者は国内に大きくわけて3社ある。当市が契約している業者はNTT系の「会議録研究所」という大阪市の業者である。

所感と光市政への反映

議会改革特別委員会で議論し議会だよりを新しく発刊できたことは大変な成果だと感じる。また、公費負担を考え市広報内に掲載したことも工夫があり好感がもてる。ただ、内容については議員個人の一般質問の紹介が中心である。光市議会での再発行にあたっては新時代のコンセプトと内容を生み出していきたいと考える。

動画配信については、本会議・委員会とも公開している会議はすべてライブ・録画配信している点は素晴らしい。導入コスト、ランニングコスト、事務局職員の負担も少ないシステムには驚いた。光市議会でも1つの方法として検討が必要だと感じた。

光市議会会派「彩り」視察報告書

日時	令和元年7月17日(水)15時～16時50分
視察先	奈良県大和郡山市 北郡山町 大和郡山市役所 城内町 学科指導教室「ASU」
応対者	大和郡山市教育委員会学校教育課 渋谷美奈課長 川口次郎指導主事 大和郡山市議会事務局 百嶋芳一次長 岡向修治係長
テーマ	不登校支援学科指導教室「ASU」



①「ASU」の設立経緯

- H9 適応指導教室「あゆみの広場」開設
- H15 小泉内閣時代に不登校指導生徒支援教育特区を申請し認定(1年間)
- H16 学科指導教室「ASU」を開設 ※「Ayumi Square Universe」の略

②「ASU」の概要

- ・理念 不登校児童生徒に新たな学びの場を提供 学校教育を実施する施設
「不登校の生徒がいつでも立ち返れるシェルターのような存在」
- ・特色 現行の教育課程を弾力化して実施
カウンセリングステーションを設置
市費による常勤職員を配置
奈良教育大や天理大学の学生を学習チューターに任命
子供の通知表や調査書(内申書)を作成している
調査書(内申書)は高校受験に活用できる
- ・スタッフ 教員10名(常勤3 非常勤7) 市指導主事1名 カウンセラー3名
- ・運営経費 年間2500万円(人件費1500万円 備品費・図書費・施設運営費)すべて一般財源
- ・教育課程 標準授業時数と比較し、小学校▲80～175時間 中学校▲175時間

		月 火 水 木 金				
		朝の会				
1 限目	9:20-9:30					
	9:30-10:15	小1.2 こくご	小1.2 せいかつ	小1.2 さんすう	小1.2 せいかつ	小1.2 さんすう
	小3.4 10:15	小3.4 国語	小3.4 理科	小3.4 算数	小3.4 理科	小3.4 算数
2 限目	10:30-11:15	小1.2 チャレンジ(外国語)	小1.2 わくわくタイム(家庭)	小1.2 いきいきタイム(音楽)	小1.2 せいかつ	小1.2 チャレンジ
	小3.4 11:15	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会
	小5.6 11:15	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会
3 限目	11:30-12:15	小1.2 さんすう	小1.2 チャレンジ	小1.2 こくご	小1.2 いきいきタイム(園工)	小1.2 こくご
	小3.4 12:15	小3.4 算数	小3.4 算数	小3.4 国語	小3.4 国語	小3.4 国語
	小5.6 12:15	小5.6 算数	小5.6 算数	小5.6 国語	小5.6 国語	小5.6 国語
		12:20-13:00 昼食・休憩				
4 限目	13:00-13:45	小1.2 あゆみタイム	小1.2 せいかつ	小1.2 いきいきタイム(園工)	小1.2 スポーツタイム	小1.2 スポーツタイム
	小3.4 13:45	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会	小3.4 社会
	小5.6 13:45	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会	小5.6 社会
		13:45-13:55 掃除				
		13:55-14:05 終わりの会				

		月 火 水 木 金				
		朝の会				
1 限目	9:20-9:30					
	9:30-10:20	中1 理科	中1 数学	中1 英語	中1 社会	中1 国語
	中2 10:20	中2 数学	中2 英語	中2 理科	中2 国語	中2 社会
2 限目	10:30-11:20	中1 チャレンジタイム	中1 社会	中1 理科	中1 数学	中1 理科
	中2 11:20	中2 社会	中2 国語	中2 数学	中2 英語	中2 社会
	中3 11:20	中3 社会	中3 社会	中3 社会	中3 社会	中3 社会
3 限目	11:30-12:20	中1 国語	中1 チャレンジタイム	中1 スポーツタイム	中1 いきいきタイム(音楽)	中1 英語
	中2 12:20	中2 社会	中2 チャレンジタイム	中2 スポーツタイム	中2 いきいきタイム(音楽)	中2 理科
	中3 12:20	中3 理科	中3 チャレンジタイム	中3 スポーツタイム	中3 いきいきタイム(音楽)	中3 社会
		12:20-13:00 昼食・休憩				
4 限目	13:00-14:30	中1 あゆみタイム	中1 いきいきタイム(美術)	中1 わくわくタイム(家庭)	中1 わくわくタイム(技術)	中1 スポーツタイム
	中2 14:30	中2 社会	中2 社会	中2 社会	中2 社会	中2 社会
	中3 14:30	中3 社会	中3 社会	中3 社会	中3 社会	中3 社会
		14:30-14:40 掃除				
		14:40-14:50 終わりの会				

- わくわくタイム** 自然体験や勤労生産活動
- いきいきタイム** 音楽や美術
- チャレンジタイム** 自分で計画を立て主体的に取り組む
- あゆみタイム** カウンセラーとのチームティーチング

- ・年間行事として、テスト3回、職場体験、進路説明会、卒業式がある。
- ・卒業後は、ほぼ全員が公立または私立の高等学校に進学している。

③「ASU」の施設

- ・明治41年に奈良公園内に建設された県立図書館を、昭和43年に郡山城内に移築その後市民会館として活用後、現在はASU 土日祝日は観光施設として見学可能
- ・小学生と中学生の学習室、個別相談室、音楽コーナー、遊具コーナー、事務室



ASU内の学習室



ASU内の相談室

質疑応答

- ・ASUに通う子供の学籍はどこになるか？
→学籍は原籍校になる。卒業式はASUと原籍校のそれぞれで行う。
- ・ASUに通えていない不登校児童はいるか？ それら子供への対応は？
→市内に一定数いる。学籍のある学校の対応に加え、教育委員会のスクールカウンセラーによる対応がある。ASUの歩みルームへ参加も勧めている。
- ・不登校になる子供はどのような状況にあるか？
→状況はそれぞれ違うが、原因ときっかけは分けて考えている。
人間関係が上手く構築できない子供が不登校となる事例が多い。
- ・他市からASUに通学できるか？
→できない。大和郡山市内の小中学生が不登校となった場合の施設である。
- ・先生が学校現場からASUへ来ての印象はどうか？
→現場の時はASU活用に躊躇もあったが、支援する側になり重要性を認識した。



ASU施設長の谷垣康さん(大和郡山市教育長)

所感と光市政への反映

- ・授業（学校教育）を行う施設であることが、明確に位置づけられていた。
- ・大和郡山市が独自で立ち上げ運営してきた施設であり、他市よりも先行している。
- ・学校に登校できない児童の居場所になっている。一方でASUに通うことのできない不登校児童も存在し、対応には苦慮されている。
- ・現在光市には不登校支援施設がないが、関係者には是非他市先進地の取り組みを学んで欲しい。

光市議会会派「彩り」視察報告書

日 時	令和元年7月18日(木)10時～12時
視察先	大阪府泉大津市 泉大津市議会
応対者	泉大津市議会 大塚英一副議長 坂口陽一議運委員長 村岡均議運副委員長 村田雅利議員 谷野つかさ議員 泉大津市議会事務局 日出山孝一係長
テーマ	議会改革の取り組みと動画配信



①政策討論会（議会基本条例第10条）

- ・基本条例に定め運用基準も整備している。テーマについては議員から議長へ申し入れ、開催の可否は議長が判断する。全議員が参加。
- ・全議員の一致による合意形成が図れた意見については常任委員会で詳細を決め、政策提言を行う。必要があるときは専門家の出席を求めることができる。
- ・「人口減少」をテーマに開催した討論会では、3班に分かれ討議し班長が報告。共通の課題や問題点が見つかりもう少し議論を深める必要があるとの結論であった。
- ・「市民会館跡地の活性化」をテーマにした討論会では、公園整備や市道一方通行を双方向に通行できるような意見をまとめ、大阪府に対し申し入れた。

②意見交換会（議会基本条例第14条）

- ・議会報告会も検討したが、先進地ではマンネリ化や参加者の固定化がみられるので、意見交換会を選択した。
- ・毎年1回以上開催する。議会による開催と市民グループや団体（10名以上）からの要請による2種類があるが、これまでの実績はすべて要請による開催である。
- ・開催希望日の3週間前までに「意見交換会申込書」を持参、郵送、FAX。議運で協議し決定する。市役所から出向いて開催する。全議員が参加。所要時間は90分。
- ・テーマは市政や議会に関すること。これまでに介護者家族の会や保護司会、更生保護女性会等と意見交換があった。成果として、脱法ハーブ店の取り締まりにもつながったケースもある。

泉大津市議会「意見交換会」申込書			
(※必ず) 泉大津市議会事務局 平成 年 月 日			
下記のとおり意見交換会の申し込みをします。			
姓 名			
所 属 (代 表 者)			
連絡グループ名			
電 話			
意見交換会の テーマは	テーマ: 内 容:		
組 織 名	団 体 名	会 員 数	主 席 者
	泉大津市議会グループに 参加して意見交換	参加者として意見交換	
申 請 日 時	第1希望	年 月 日 () 時 分 - 時 分	
	第2希望	年 月 日 () 時 分 - 時 分	
	第3希望	年 月 日 () 時 分 - 時 分	
参加予定人数	人		
開催希望会場			
備 考	変 更		

③議会傍聴よびかけ隊（議会基本条例第15条：市民に直接呼びかけを行う）

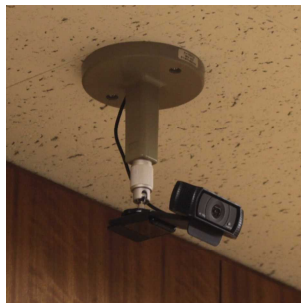
- ・定例会で行う一般質問の内容と発言順序の一覧表などを印刷したチラシを、駅周辺やスーパー等で定例会ごとに議員が配布する。チラシ代年間5千枚で13,500円。のぼり12本で35,490円。
- ・マイクスピーカーは当初、議員個人のものを使用していたが、その後に政務活動費で1台ずつ購入した。
- ・正副議長を除いた全議員が一般質問を行う。傍聴者は毎回30人程度。

④動画配信（議会基本条例第15条：インターネット等の多様な媒体を用いる）

- ・本会議のネット中継設備は、議会中継&庁内LAN音声配信用PCの入替により約180万円かかった。毎月の通信費は約6千円。
- ・委員会のネット中継設備は、カメラ購入と配線工事で約44万円かかった。当初はユーチューブ配信していたが無料配信終了したので、現在はユーチューブに変更。
- ・動画閲覧者は、本会議と委員会のどちらについても年間3千人くらい。



本会議場後方のカメラ



委員会室のカメラ



委員会室の音量ミキサー

⑤その他

- ・小学校の議場見学受け入れについて、議員二人一組により案内している。市内8校の学校行事として組み込まれている。
- ・中学校への議会出前講座では、市議会や議員の仕事の講話やクイズを実施した。
- ・HPについては議会独自のドメインを取得し、「議会は意外と面白い」といったコピーなど親しみや表示を心掛けている。議員紹介ページでは個人のSNSや議事録へのリンクも許可している。キッズ用のHPも作成。
- ・HPでは政務活動費の視察報告書と領収書を含めて公開。議会改革検討協議会の議事録は要点筆記による公開。議会交際費も毎月公開している。

質疑応答

- ・議会報の編集体制と予算額は？
→議事調査係2名。経費は印刷製本費213万円。定例会4回と臨時会1回で、1回あたり3万1000枚。配布手数料は71万9000千円。自治会未加入者には郵送する。
- ・その他の情報発信についてどのようなものがあるか？
→昨年、泉大津市吹奏楽団の議場コンサートを開催。60人の傍聴席が満席となった。

所感と光市政への反映

- ・3ヶ月前に初当選されたばかりの村田雅利議員と谷野つかさ議員が本視察に同席され、フレッシュな意見交換ができました。
- ・平成21年から議会改革検討協議会が設置され10年間で多くの改革が実行され成果が出ている。まさに、光市議会と同じ時間軸で議会改革を進めておられ、大変参考になった。
- ・動画配信は、委員会中継を定点カメラで行い職員操作は音量のみとするなど、負担をかけず比較的安価に進めている。
- ・意見交換会の申込書をHPに掲載しており市民からの申込が多い。市民との連携に有効な取り組みと実感した。議員が出前講座等積極的に行動していくことで、子供達や多世代の方に興味を持ってもらえる「きっかけ作り」にもなっていると感じた。

